

と や ま ほ し が き

富山干柿

生産地：平成16年10月31日時点における行政区画名としての富山県西砺波郡福光町及び東砺波郡城端町（現在の富山県南砺市内の一部）

登録団体：農事組合法人富山干柿出荷組合連合会



農林水産大臣登録第98号



特性

旧福光町及び旧城端町で約300年以上前から栽培している産地固有品種の「三社」という柿を原料とした干柿である。飴色で砲弾型のずしりとする大きさといった外観のほか、強い甘みと歯ごたえが特徴である。

地域との結び付き

「三社」は、たんそ病に対して極めて弱く、生産地の肥沃でない赤土が栽培に適している。また、上に伸びる性質が強く、高い位置に主枝が発生し、多雪地帯の生産地でも雪害を受けにくい。1955年以来、「三社」のうち、大果性、干柿歩留まり、肉質の点で優れる系統を選抜。